



ちば市議会だより

■発行/千葉市議会 ■編集/千葉市議会広報委員会 ■住所/〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
■電話/043-245-5472 ■FAX/043-245-5565 ■ホームページ/https://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html

令和4年(2022年) **5月1日** No.116

今回の議会 | 第1回定例会(2月) | 第2回定例会(6月) | 第3回定例会(9月) | 第4回定例会(12月)

第1回定例会を開催! ～令和4年度予算案を慎重に審議～

第1回定例会では、代表質疑(2・3面)を行った後、予算審査特別委員会で令和4年度予算案に対する分科会審査(1面)・意見表明を行い、常任委員会で補正予算・条例議案などを審査しました(2・3面)。慎重審議の結果、64議案を採決しました(4面)。

令和4年第1回定例会 主な会議日程

2/18[金]	本会議(開会)
2/28[月]・3/1[火]	本会議(代表質疑) 2・3面
3/1[火]	予算審査特別委員会(委員選任等)

3/ 2[水]～7[月]	予算審査特別委員会(分科会) 1面
3/ 8[火]	常任委員会 2・3面
3/10[木]～16[水]	本会議(一般質問)

3/16[水]	予算審査特別委員会(分科会報告、意見表明) 2・3面 、採決
3/17[木]	本会議(委員長報告、討論、採決) 4面

予算審査特別委員会

委員長 段木 和彦 副委員長 石川 弘

令和4年度予算案を審査するため、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置しました。分科会審査、意見表明後、採決を行った結果、各会計予算を原案どおり可決し、指摘要望事項を市長に提出しました。



指摘要望事項

分科会

専門的な見地からの詳細な質疑応答!

内容が多岐にわたる予算議案をより詳しく審査するため、委員会は分野別に5つの分科会に分かれて審査を行いました。質疑の一部をご紹介します。

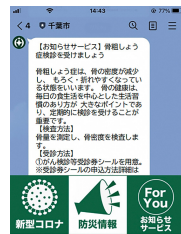
分科会	所管事項
総務	危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政など
保健消防	保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院など
環境経済	市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業など
教育未来	子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習など
都市建設	まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道など

総務分科会

「あなたが使える制度お知らせサービス」の拡充を

問 各種手当や健康診査などの市民が利用できる行政サービスをLINEで通知する「あなたが使える制度お知らせサービス」の対象となる制度は育児世代向けのものに偏りがある。高齢者向けの制度を拡充すべきではないか。

答 令和4年度から国民健康保険等の加入者に対し、人間ドックや脳ドックの費用助成のお知らせを開始するなど、通知対象となる制度を拡充する。今後もニーズを踏まえながら、サービスの拡充を検討していく。



保健消防分科会

若年性認知症支援コーディネーターの配置について

問 新たに、若年性認知症支援コーディネーターを配置し、若年性認知症の人や家族への支援、雇用企業からの相談対応等を行うとのことだが、すでに活動されている認知症地域支援推進員*との連携について伺う。

答 認知症地域支援推進員は班別に活動しているが、新たに若年性認知症支援班を作り、若年性認知症支援コーディネーターと協働して、関係機関との連携や、本人・家族への支援等きめ細かく進めたい。



環境経済分科会

粗大ごみ自己搬入時のキャッシュレス決済の内容は

問 環境事業所へ粗大ごみを自己搬入する際の処理手数料の支払い方法に、キャッシュレス決済が導入されるが、その内容を伺う。

答 環境事業所に専用の端末を設置し、令和4年度後半からの運用開始を考えている。使用できる電子マネーは、複数の業者から最も優れた企画・提案をした業者を選ぶ、プロポーザル方式により決めていくが、各種クレジットカードのほか、交通系や流通系などの一般に広く使われている電子マネーを予定している。



教育未来分科会

新たに配置される家庭訪問カウンセラーの役割は

問 不登校や病気等による長期欠席児童生徒の支援のため、令和4年度から家庭訪問カウンセラーが配置されるが、位置づけと役割を伺う。

答 不登校等の児童生徒には、これまで、教育相談等の見識を持つ家庭訪問相談員が訪問し、心のケアを行ってきた。家庭訪問カウンセラーは、臨床心理士等の資格を持つ、さらなる専門家の位置づけで、長期引きこもり等の困難な事例に対処し、児童生徒の心のケアに加え、保護者へのカウンセリングも行う。



都市建設分科会

下水汚泥固形燃料化事業の持続可能な運営を

問 南部浄化センター内に整備予定の施設において下水汚泥から製造する固形燃料は、石炭等の代替燃料となり、売却益とともに温室効果ガス排出量の削減が期待される。一方で、多額の債務負担が生じる長期間の事業となるため、売却価格の変動リスクなどの課題が懸念されるが、見解は。

答 固形燃料の利用先確保等は今後選定する運営事業者が責任を持つ契約とするが、20年にわたる事業のため、社会情勢の大きな変動があった場合は見直しも考える。



用語解説

※認知症地域支援推進員

認知症の医療や介護の専門的知識や経験を持ち、地域の支援機関間の連携支援や、認知症の人やその家族の相談支援を行う。本市では、あんしんケアセンターなどで活動している。

主な内容

2・3面 代表質疑/予算審査特別委員会(意見表明)/常任委員会
4面 議案の議決結果・会派別賛否状況/可決した主な議案/請願・陳情の結果

予算審査特別委員会の意見表明は【2・3面】に掲載しています